

# いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成22年度いのちの教育総合支援事業

## 「生命の誕生～みんなは奇跡の存在～」

黒部市立三日市小学校5学年児童・保護者  
平成22年10月1日実施

## 【いのちの先生】

水井 雅子 先生  
・助産師

### 【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 いのちの誕生という言葉からのイメージ
- 3 「いのちの先生」の話
  - (1) 紙芝居「うまれてきて ありがとう」
  - (2) 赤ちゃんの秘密をさぐってみよう
    - ①いのちのはじまりの大きさ
    - ②へその緒の秘密
    - ③おなかの赤ちゃんの様子
    - ④出産の様子
  - (3) 誕生日について
  - (4) 生きていることとは…
- 4 質疑応答・意見や感想
- 5 メッセージカードの記入

- いのちの授業の事前・事後学習を充実させたことにより、子どもたちはいのちのすばらしさやいのちのつながりに深く感動し、自他のいのちの大切さを実感することができた。
- いのちの先生の心のこもった話は、子どもたちだけでなく、保護者にも生命誕生の神秘性やいのちのすばらしさを改めて実感させることにつながった。
- 家庭と連携していのちの授業を行ったことで、親子でいのちについて考え、温かく深く結びついている親子の絆を再認識することになった。

### 保護者の感想

- この機会にもう一度、家族で「いのち」について話し合い、子どもたちにお腹にいたときの話を聞かせたいと思います。我が家は娘が二人なので、いずれ私と同じ思いで妊娠・出産・育児をするのかと思うと、今からとても楽しみで、うれしい思いがします。
- いのちの誕生について、詳しく説明していただき、本当によく分かりました。私からいのちの誕生について子どもたちに話をしようと思っても、なかなかうまくできなかつたので、今日のこのような機会があったことはとてもよかつたと思います。
- いのちの先生に、実際にいのちの始まりの赤ちゃんの大きさや赤ちゃんの成長など、子どもたちに分かりやすく説明していただきました。先生が最後に「誕生日は、自分一人のものではなく、『いのちの記念日』です。」と言われたことがとても印象的でした。子どもたちが少しでもいのちの大切さを感じ取ってくれたらうれしいです。
- 先生の穏やかな話しぶりに、子どもたちが真剣に耳を傾けている姿から、とても有意義で深く心に残る時間だったなと感じました。今日、家に帰ったら、家族の会話の中でいのちについて語り合いたいと思います。

お母さんへ

いつもお店がいそがしくて、休  
みの日にもあんまり出かけたりで  
きなくて、ちょっとさみしい気も  
します。でも、おいしいご飯をち  
ゃんと作ってくれたりしてうれし  
いです。

私を産んでくれてありがとう。  
これからもいろいろと  
がんばって！！

イラスト「心のノート」より



〇〇へ

予定よりも2週間も早く生まれ、とても小さか  
ったあなた。小さい頃は人見知りのはげしくて  
お母さんからまったく離れなかった子だったけ  
れど、最近は1人で出かけたり、いろいろなこ  
とにチャレンジすることが増え、うれしい反面、  
ちょっとさみしい気もします。週末は仕事で忙  
しく、どこにも連れて行ってあげれなくてごめ  
んね。いつもご飯をおいしそうに  
食べる姿を見ると、お母さんも  
パワーがでます。ありがとう。  
大好きだよ。イラスト「心のノート」より



お母さんへ

お母さん、私を産んでくれてあ  
りがとう。私はいつもわがままばかり  
言っているけれども、そんな私  
を優しく育ててくれたね。

バレーボールクラブに入ってか  
らも、次の日の準備なども手伝って  
くれてありがとう。

お母さん、本当に  
私を育ててくれてあ  
りがとう。

イラスト「心のノート」より



〇〇へ

元気よくお腹をけるたびに、どん  
な赤ちゃんが生まれてくるのだらう  
と、楽しみにしていました。

あなたが生まれた夏も、今年のように  
暑くて、昼間はぐずついて、いつも  
だっこをしていました。小学生になり  
自分の夢に向かって、だんだんママか  
ら離れていくけれど、大  
切なあなたをずっと  
見守っているね。

イラスト「心のノート」より

